

【R8 諏訪南中 生徒指導の方向】

	生徒指導の構造	生徒指導の方向
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深刻な課題を抱える特定の生徒に対して組織的に対応・関係機関とも連携しつつ指導・援助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員間の情報共有と見守り、チーム対応。 ・ 保護者の意向を踏まえつつ、自己の言動の振り返り、社会に受け入れられる言動が、正しいこと、正しくないこと、自分の将来から今あるべき姿を生徒に考えさせたり、問うたりしながら行動変容を求めていく。 ・ 事案によっては、警察や児相等と連携した対応。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の課題を意識し、予兆が見られる等の一部の生徒の課題の深刻化を防止 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の課題を意識し、全ての生徒に対する生徒指導上の諸課題の発生を未然防止 ・ 特定の課題を意識することなく、全ての生徒を対象に学校教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤 	<p>【全ての生徒に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様性を認め合える人権感覚の育成 <p>【全ての教育活動を通して 学級、学年、全校で】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己存在感の感受（自分も一人の人間として大切にされている） ・ 共感的な人間関係の育成（間違いやできないことを笑わない） ・ 自己決定の場の提供（自ら考え、選択し、決定する） ・ 安心・安全な風土の醸成（安心して授業や学校生活が送れる風土）

【時として厳しい態度で指導】 命や安全を脅かす言動 他者を傷つける言動 時間を守る行動

【重点課題】 体育館無言入退場の徹底（教室から一歩出たら無言） ※生徒会との連携

【職員の意識徹底】 ①現場で指導「生徒とともに活動」 ②情報共有「報告・連絡・相談」 ③丁寧な初期対応

【留意点】 ①丁寧な事実確認と情報収集 ②チームによる情報共有と対応 ③家庭連絡（保護者の横に立つ姿勢）

※引用文献：東京都教育庁指導部（2022）「生徒指導提要（令和4年12月）」のポイント基礎編